

2025.12.3
No.68

UNIRITA ユーザ会ホームページ
<https://www.uniritauser.jp/>



UNIRITA Users' Group

ユニリタ ユーザ会 ニュース

CONTENTS

- 02 第42回UNIRITAユーザシンポジウム
びわ湖大津プリンスホテルにて開催決定！
- 03 湖国の味覚を楽しむ【食】
- 04 UNIRITAユーザ会役員からのメッセージ
- 05 昨年度受賞 コーディネータヘインタビュー
- 06 Close Up! 全研究グループ紹介
- 10 2025年度 活動報告





第42回

UNIRITA ユーザシンポジウム びわ湖大津プリンスホテル にて開催決定！

今年も、昨年に引き続き「びわ湖大津プリンスホテル」にて、2026年3月5日（木）から7日（土）の日程で開催することが決定いたしました！

昨年度のシンポジウムの開催写真と、参加者の皆様からいただいた感想の一部を掲載しております。是非ご覧ください。

第42回 UNIRITA ユーザシンポジウムも、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、開催についての詳細な内容は裏表紙をご確認ください。

情報交換会

様々な方と情報交換ができ、
自分自身にない考え方などを
得る事が出来て大変良かった。

表彰式

表彰者の頑張りを
喜びを通じて感じる事ができて
とてもよかった。



研究発表

業界経験約30年ですが、
それでも研究発表は参考に
なるものがありました。
1年間という期間、研究した
発表ならではの思いました。

ランチ講演会

普段聞く事ができない、
第一線で活躍された
トップアスリートの方の話
には重みがあり感動した。

参加者の声

昨年度のシンポジウムにご参加いただいた
方々からの声を一部ご紹介します。

シンポジウム全般

会場全体が
明るく活気がある印象で
大変良かった。

研究発表

聴講に来た人は
誰でも投票できる
仕組みは面白いです。

シンポジウム全般

例年のことながら、
モチベーションの高い
若い技術者を見ることができる
機会になる点が良い。





湖国の 味覚を楽しむ

シンポジウムに
来ると楽しめる!



湖畔に新たな拠点「LAGO 大津」

シンポジウム会場・びわ湖大津プリンスホテルの目の前に誕生!

LAGO 大津
とは…

琵琶湖の美しい自然と調和するよう設計されたこの場所は、
2025年3月にオープンした和菓子舗たねやの新店舗。

ショップには、たねや伝統の和菓子が豊富に並び、代表銘菓「ふくみ天平」のLAGO限定パッケージや「近江八景」など、ここでしか手に入らない特別な商品が見つかる。特におすすめなのが、併設工房で焼き上げる「たねやカステラ」。

季節の素材を使用した焼きたてたねやカステラや甘味を味わうことができ、ガラス越しに職人が菓子を仕上げる様子を眺められる。“できたて”の臨場感を間近に感じられる空間となっている。また、「近江おこわ」や「赤こんポターージュ」など、地元・滋賀の食材を生かしたメニューもあり、



©たねや

甘味だけでなく地元の味を活かしたメニューが楽しめるのも魅力のひとつ。四季折々のラインナップは土産選びにも最適。

カフェでくつろいだ後は、ショップで土産を選んだり、湖畔を散歩したりと、過ごし方はさまざま。敷地内に広がる「琵琶湖の森」では、自然とふれあいながら森を歩くLAGOツアー(要予約)が開催されており、まさに“買う・食べる・体験する”が一体となったLAGO 大津は、琵琶湖の魅力を五感で感じることできる、滋賀の新たなランドマークとして注目を集めている。



©たねや

「LAGO 大津」施設情報

- 住所 滋賀県大津市由美浜4番地
 - 営業時間 9:00～18:00 (カフェL.O.17:00)
 - 定休日 1月1日、びわ湖大花火大会開催日
 - Web <https://taneya.jp/lago/>
- ※メニューは季節により変更が生じます。



©たねや



©たねや

伝統香る湖国が誇る味わい【うなぎ × 地酒】

うなぎ ～琵琶湖の恵みを口に運ぶ一皿～

滋賀・大津は、琵琶湖に育まれたうなぎ文化を古くから持つ、地元を代表するグルメのひとつ。炭火で香ばしく焼き上げた蒲焼は、甘辛いタレが香り立ち、ふんわりとした身に脂の旨みがじんわり広がる。老舗店では、代々受け継ぐタレを継ぎ足しながら守る味も多く、まさに時間とともに積み重ねられた一皿。また、うなぎの白焼きも人気で、塩と山葵で素材そのものの風味を味わうスタイルも。蒲焼とはまた違った、淡い香りとうなぎ本来の甘みが引き立つ。うなぎを提供する店は大津市内に点在しており、駅近くの老舗から、湖岸沿いの風情ある名店まで、訪れるルートに合わせて選ぶのも楽しみのひとつ。



地酒 ～水と米のハーモニーを味わう～

滋賀は豊かな水と米に恵まれ、近江米と伏流水を使った日本酒づくりが古くから盛ん。大津周辺にも個性豊かな酒蔵が点在し、淡麗でキレイのあるものから、ふくよかで香り高いものまで、実に多彩な味わいが揃う。地酒に合わせる料理は、うなぎはもちろん、季節の小鉢や碗もの、蒸しもの、漬物なども好相性。特に、甘辛いタレのうなぎには、軽やかな純米酒や、旨みと酸味のバランスが絶妙な一本を選ぶと、互いの味を引き立て合うペアリングが楽しめる。



研究部会「新任」副代表のご紹介！

2025年度より新たに就任した研究部会副代表3名へ、ユーザ会への思いや今後の意気込みを伺いました！

東日本情報活用研究部会(IE) 新副代表

中尾 祐生 旭化成アミダス株式会社

旭化成アミダス株式会社の中尾祐生です。ユーザ会全体を盛り上げられるよう、新たな取り組みに積極的に挑戦していきたいと考えています。ユーザ会は、他社メンバと共に活動することで、日常業務では得られない新たな視点や経験をえられる貴重な場です。業務と並行しての研究活動は大変だと思いますが、ぜひ研究会メンバと協力し、悔いの残らない研究活動に取り組んでください。その経験はきっと今後の大きな財産に

なると思います。副代表としては、メンバが楽しく有意義な研究活動を送れるよう全力でサポートしていきます。以前、研究グループとして参加させていただいたときと比較して、複数チームの活動を横断的に見る立場となり、進め方やリーダーシップ、役割の違いなど多くの発見があり、自身の成長にもつながっています。これからもその学びを活かし、研究活動のさらなる発展に貢献していきたいと考えています。

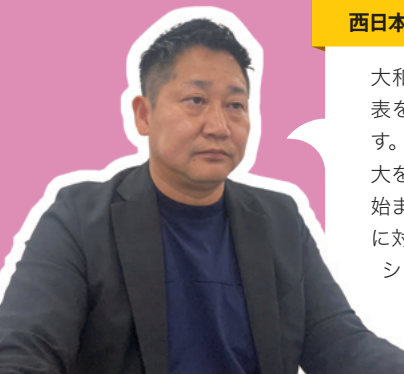


西日本研究部会(GW) 新副代表

山中 正人 大和リース株式会社

大和リース株式会社の山中と申します。今年度より副代表を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。当初、ユーザ会への参画は、部下の成長と視野の拡大を目的として、部下のみを強制的に参加させたことが始まりでした(笑)。しかし、研究会メンバの皆様の研究に対する真摯な姿勢や、シンポジウムでのプレゼンテーションに感動と衝撃を受け、部下だけでなく私自身も成長したいと思い、本格的に参画するようになったのがきっかけです。今では、異業種交流を通じて得

られる実践的な知見の価値を、日々実感しております。気軽にお引き受けしてしまった副代表の役ですが、運営側の先輩方(代表・副代表・幹事)の皆様が真剣に取り組まれている姿を目の当たりにし、このユーザ会が、業界や立場を越えた「学び合いの場」であり、課題を深掘りし、「未来志向の研究を推進する貴重な機会を得られる場」であると確信しております。研究会の皆様が、シンポジウムにて自信を持って成果を発表できるよう、微力ながらお力添えさせていただき所存です。

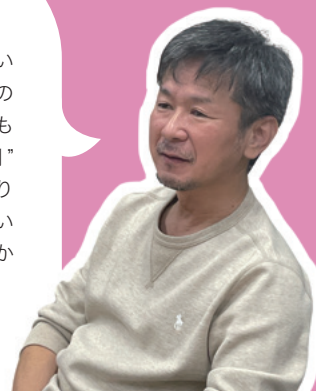


東日本システム運用研究部会(OE) 新副代表

田中 彰 リコーITソリューションズ株式会社

リコーITソリューションズ株式会社の田中彰と申します。現在はグループを支える基幹システムの開発・運用に携わっています。2021年からOE01に参加し、各研究会の支援やIT部門の在り方についての議論、シンポジウムでのイベント開催などを通じて、多くの学びと刺激をいただけてきました。研究メンバの皆さんがチームで悩み、試行錯誤を重ねながら成果を形にし、発表後に達成感を分かち合う姿には、毎年心を動かされます。これからも、その達成感を味わっていただけるよう、そっと背中を支える存在でありたいと感じていま

す。UNIRITA ユーザ会は、ITサービスを進化させたいエンジニアが本音で語り合える、実務特化・参加型のコミュニティです。他社との異文化交流や人脈形成にも大きな価値があります。OE副代表として、“守る運用”から“価値を生み出す運用”への進化を後押しし、誇りを持てる次世代の運用コミュニティづくりに貢献したいと考えています。OE01参加当初は研究会の皆さんから学ぶ立場でしたが、今後は魅力ある研究テーマの設定やユーザ会全体の方向性にも関わり、より深く向き合っていきたいと思っています。



幹事

廣瀬 真一

ANAシステムズ株式会社

／ 広報をご担当いただいている廣瀬幹事よりメッセージ ／

UNIRITA ユーザ会は、年間を通じた研究活動を展開しており、参加企業間の活発な交流を促しています。この活動は、スキルの向上とモチベーションアップに直結しており、部下の参加を促した上司の96%がその成長を実感するほどです。本会は単なる情報交換の場ではなく、企業の人材育成に対する確かな投資となることを示しています。この1年間の研鑽の集大成として恒例で

開催されるのがシンポジウムです。熱意あふれる研究発表は、参加者に感動を与え、日々の努力を称え、さらなる成長を後押しする重要な機会となっております。私たちは、ユニリタの「利他の精神」のもと、参加者の成長を願い、この活動を推進しています。今年度のシンポジウムは3月に開催を予定しておりますので、ぜひご参加いただけますよう心よりお待ちしております。

昨年度受賞研究グループ コーディネータへインタビュー

第41回 UNIRITA ユーザシンポジウムで受賞された研究グループを代表して、6グループのコーディネータの皆さんから、研究発表で工夫した点や研究活動の魅力、シンポジウムでの学びや成長について、当時を振り返っていただきました！

IKOK01 「生成AIを活用した業務効率化」 研究グループ

「聴講者に伝えること」を意識して、発表資料の内容・構成・見栄えに反映いただき、発表者に自信をもって話していただきました。研究会メンバと研究成果を心置きなく出し切れて、最後を笑顔で迎えられました。研究会メンバ同士のコミュニケーションが会合ごとに高まり、役割分担・負担軽減・補助など、自然と行われるようになる事は、研究会メンバの成長に繋がっているものと思います。臆せず積極的に意見を出し、参画して欲しいと思います。



最優秀
活動賞
受賞

GW06 「コミュニケーションの深化がもたらす 心理的安全性とチーム生産性への効果」 研究グループ



優秀
活動賞
受賞

がんばった成果をたくさんの方に聴いていただきたいと思い、会場前で全員で集客し、発表者だけでなくメンバ全員で発表する気持ちで臨みました。受賞がすべてではないですが、メンバが頑張ってきたことが報われてほしいと思っているので、約100名の方々に聴いていただき、評価いただけたことで、ホッとしましたし、やり切って終わってさらに一体感が増した気がしました。ユーザ会以外では、同時期に複数社の方々と深く関わることはないので、活動が終わった今でも連絡ができる関係性が続いていることは価値でもあり魅力だと思います。

IE02 「生成AIの新たな活用法①」 研究グループ



優秀
活動賞
受賞

私たちは生成AIの新たな活用法というテーマに対して、進化の早い生成AI分野で新たな活用法を模索する難しさを感じつつも研究を通じて知見を深め、チームで成果を形にする成長を実感することができました。発表ではスライド構成を統一感のあるデザインと1スライド1メッセージを意識して、聴講者に伝わりやすさをこだわった発表をしました。今回の受賞を励みに、さらなる成長を目指していきます。

IE04 「BizDevOpsとデザイン思考」 研究グループ



優秀
活動賞
受賞

本テーマでは、私たち自身がデザイナー的な視点を持ち、各々の分断を乗り越える働きが必要だったと思います。幸いにも、その重要性を知る人々が集い、メンバ全員が何かしらの形で主体的に携わったことで、受賞という形で本テーマを体現することができました。発表会という答えのない問いに、みんなで根気よく向き合い続けた成果だと思います。これはこの先の社会生活を乗り切るための、何よりもかけがえのない経験になりました。

IN01 「業務へのAI活用」 研究グループ



審査員
特別賞
受賞

単なるAIアプリの研究発表とならないよう、登場人物にキャラクターを割り当てて親しみやすさを工夫しました。また、シンポジウムでは業務に活かせる内容が多くあり、勉強になりました。普段は接点のない企業や年次の方が集まり、一緒に共通の成果物を作り上げる経験は今後様々な場面で活かされると感じました。今も関係性は続いており、価値の高い人脈形成になったと思います。

OE03 「生成AIを活用した最適なシステム運用とは」研究グループ



審査員
特別賞
受賞

OE03チームでは、生成AIを活用してシステム運用業務の工数削減に取り組みました。発表は、来場者が体験できる実践的な内容にし、声のトーンや話し方、強調点を意識しました。シンポジウムでは他社との交流から新たな刺激を受け、困難を乗り越えたという達成感を得ました。研究活動では、通常業務では得られない人とのつながりや学びがあり、今後もその経験を活かしてシステム運用に貢献し、成長していきたいです。

CLOSE-UP!

今年度は、全国で30のグループが研究部会活動に参加しています。

全グループを一挙にご紹介！

これまでの多彩な活動を踏まえ、各グループの研究成果が期待されます。

シンポジウムでの発表を楽しみにお待ちしております。

東日本地区

これからのIT

IE01



豊富な経験を持つIE01メンバーが、今年のシンポジウムでは皆さんのスキル向上や気づきにつながる発表を準備しています。お楽しみに！

成亥 稔 [株式会社テッキーズボッド]
藤原 甲 [さくら情報システム株式会社]
増田 徹也 [株式会社KYOSO]
天井 誠一 [株式会社ソフトウェア・パートナー]
田中 豊久 [株式会社匠BusinessPlace]
山本 浩之 [株式会社システムフロンティア] ★

中村 清悟 [システムアクティベーション株式会社]
秋山 洋 [デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社]
吉澤 武則 [株式会社ソニックス]
澤田 大輔 [株式会社ユニリタ] ■
小山 智久 [株式会社ユニリタ] ▲

AI時代に必要なデータガバナンス

IE02



生成AIの回答を良くするカギは「データガバナンス」です。私たちは、データガバナンスを「楽」に実現する方法を研究しました。どうぞご期待ください！

朝野 恭平 [北陸コンピュータ・サービス株式会社]
卯花 なるみ [株式会社アークシステム] ★
黒田 澤 [株式会社システムフロンティア]
田中 彩名 [株式会社エムアンドシーシステム]
糸澤 瑠美 [株式会社ピーエスピーソリューションズ]

高田 光 [株式会社リンクレア]
増田 燎也 [株式会社ユニリタ]
黒川 菜緒 [株式会社ユニリタ] ■

「2025年の崖」を迎えた変化

IE03



2025年を迎えた今、「2025年の崖」とはなんだったのかを改めて振り返り、次の崖に向けて企業が今取り組むべきことを探求します。

角 慶樹 [株式会社ピーエスピーソリューションズ] ★
ジェイ 健一 [株式会社リンクレア]
新妻 大希 [MS&ADシステムズ株式会社] ○
栗原 香澄 [さくら情報システム株式会社]

北川 紗瑛 [出光興産株式会社]
井上 海 [株式会社ユニリタ] ■
新里 亮太 [株式会社ユニリタ] ▲

データドリブン経営の実現①

IE04



データドリブン経営が普及しないのは、「データを正しく見極める目」が育っていないから。数字の裏にある意味を読み解く力で、真の経営判断を導きます。

松本 和也 [株式会社ストラテジット] ○
早坂 倫実 [株式会社K-BIT]
上谷 真也 [株式会社リンクレア]
佐藤 優成 [株式会社エムアンドシーシステム]

荻野 天聖 [東亜建設工業株式会社]
本田 基史 [株式会社テンダ] ★
北條 義則 [株式会社ユニリタ] ■
阿部 光悦 [株式会社ユニリタ] ▲

東日本地区

データドリブン経営の実現②

IE05



中間管理職必見！AIとの対話を通じて、誰もが戦略と現場を結びつける実用的なKPIを設計できる。そんな新しい目標設定の体験を皆さまにお届けします！

山下 貴宏 [カゴメ株式会社] ★
小野 真一 [株式会社リンクレア]
松田 剛 [株式会社エムアンドシーシステム] ○
森谷 明咲希 [旭化成アマダス株式会社]

岩井 十郎 [シチズン時計株式会社]
伊沢 翔 [出光興産株式会社]
加藤 了嗣 [株式会社ユニリタ] ■

生成AIとエンジニアの共存①

IE06



生成AIを武器に使いこなせるエンジニアは少数です。私達はその課題に挑み、エンジニアがAIを操り未来を切り拓くための発表を届けます！

鮎川 一徳 [旭化成ホームズ株式会社]
望月 勇輔 [ブリヂストンソフトウェア株式会社] ○
関口 陽介 [旭化成アマダス株式会社]
中川 龍哉 [株式会社リンクレア]

古賀 聖晴 [株式会社システムエグゼ] ★
本田 建人 [株式会社無限]
石崎 鏡子 [株式会社ユニリタ]
山下 越幸 [株式会社ユニリタ] ■

生成AIとエンジニアの共存②

IE07



私たちは、生成AIを「動くツール」ではなく「考えるパートナー」と位置づけ、「共存」の実現に向けて研究開発に取り組んでいます。

橋本 康平 [株式会社オカムラ]
土居本 裕太 [株式会社リンクレア]
前川 朋也 [株式会社システムエグゼ]
廣田 陽 [TOPPANホールディングス株式会社] ○

藤田 啓輔 [株式会社無限] ★
大内 愛理 [株式会社匠BusinessPlace]
小村 和希 [株式会社ユニリタ] ■

システム開発における画像生成AI活用

IE08



画像生成AIとシステム開発がどう結びつくのかを研究しています。皆様のシステム開発において少しでもお役に立つナレッジを成功も失敗も包んで共有します。

三田 航紀 [株式会社リンクレア]
坂本 典子 [株式会社システムフロンティア]
赤石 実莉 [株式会社リンクレア] ○
益田 星汰 [SOMPOシステムズ株式会社] ★
小浦 誠矢 [株式会社リコー]

鈴木 青空 [第一生命テクノクロス株式会社]
戸田 健太郎 [デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社]
須藤 宏崇 [株式会社ユニリタ]
執印 瞳 [株式会社ユニリタ] ■
大木 一浩 [株式会社ユニリタ] ▲

2026年3月に実施する第42回 UNIRITA ユーザシンポジウムでは、27の研究グループが1年間の研究成果を発表します(※IE01・OE01・GW01を除く)。各研究発表の会場にいる聴講者が「研究内容」と「プレゼンテーション」の2大項目について評価し、投票します。投票結果を基に今年度の「最優秀活動賞」「優秀活動賞」「審査員特別賞」など、各賞の受賞グループが決定します。

■ 情報活用研究部会
■ システム運用研究部会
■ 合同研究部会

★ リーダ
○ サブリーダー
■ コーディネータ
▲ サブコーディネータ

東日本地区

農業分野におけるIT活用①

IE09



菅原 優李 [NSW株式会社] ○
嵯峨 悠可 [株式会社リンクレア]
鈴木 琉花 [株式会社システムフロンティア]
横山 颯斗 [東京システムハウス株式会社] ★

松本 佳洋 [株式会社リンクレア]
松前谷 風花 [株式会社システムエグゼ]
石毛 佑輝 [株式会社ユニリタ] ■
深水 桂輔 [株式会社ユニリタ] ▲

私たちは研究の対象者を消費者に絞り、ITを活用した農業研究を進めています。個性的なメンバーでIT×農業の新たな可能性を探ります！

農業分野におけるIT活用②

IE10



小久保 滯 [リコージャパン株式会社] ○
金井 敦哉 [株式会社リンクレア]
沼岡 麻里 [株式会社タカインフォテック] ★
生方 望 [株式会社システムエグゼ]

宮前 壮志 [株式会社アイネット]
小形 春 [株式会社アイネステクノロジーズ]
勝又 風実芳 [株式会社ユニリタ] ○
磯部 航 [株式会社ユニリタ] ■

スマート農業というテーマの中で“農業×IT×○○”の○○について模索し、研究しています。農家の方にお話を聞きながらリアルと夢を伝えられるような発表を目指します！

令和時代におけるサイバーセキュリティおよびBCP対策

IE11



糟谷 勇介 [カゴメ株式会社] ★
大日向 陽介 [三菱総研DCS株式会社] ○
小野 叶聖 [株式会社ピーエスピーソリューションズ]

石倉 史子 [株式会社山櫻]
牧 翔平 [株式会社ユニリタ] ■
佐野 良 [株式会社ユニリタ] ▲

ランサムウェア対策での「安心」、それは万一の際に「やることはやった」と胸を張れる状態のこと。今の対策の穴を見つけ、何から手をつけるべきか明確に示せるように頑張ります！

人とコンピュータの相互作用

IE12



野間 遥夏 [株式会社匠BusinessPlace] ○
井上 朋子 [カゴメ株式会社]
暮井 なつみ [株式会社システムフロンティア]
大野 大樹 [株式会社エムアンドシーシステム]

高野 七穂 [第一生命テクノクロス株式会社] ★
菅野 早織 [株式会社システムエグゼ]
上田 真也 [株式会社ユニリタ] ■

人とコンピュータの関係性において「主体的に選ぶ自由」と「目的達成をサポートする誘導」はどちらが「良い」のか、ユーザー目線での研究を進めています。発表を乞うご期待ください！

東日本地区

健康・福祉を支援するテクノロジー

IE13



藤野 あすか [リコージャパン株式会社]
佐藤 七海 [株式会社システムフロンティア]
関 明日香 [株式会社リンクレア] ★
横山 一祐 [CTCシステムマネジメント株式会社] ○

高田 侑南 [株式会社インフォメーション・ティバロフメント]
岡野 昱 [株式会社ユニリタ] ■

「自分は大丈夫」と思っていませんか？私達は身近に潜む『未病』という概念をテクノロジーで支援し、健康維持の新たな可能性を探ります。発表をお楽しみに！

東日本地区

運用管理事例

OE01



中俣 幸二 [株式会社リコー]
江里口 修 [株式会社アークシステム]
小笠原 勝政 [株式会社オカムラ]
寺門 美紀 [MS&AD システムズ株式会社]
坂巻 弘織 [出光興産株式会社]
深水 和歩 [コスモエコパワー株式会社]
土方 明夫 [SOMPOシステムズ株式会社]
岩井 健男 [株式会社ギフトパッド]
田中 彰 [リコーITソリューションズ株式会社]
久保 茂樹 [株式会社インフォテック/朝日]
坪川 大輔 [リコーITソリューションズ株式会社]

白土 和彦 [ANAシステムズ株式会社]
佐藤 浩史 [株式会社無限]
穴太 隆 [TIS株式会社]
坪井 祐司 [株式会社川島織物セルコン]
村岡 崇 [株式会社フジ・ネクステラ・ラボ]
小出 誠 [株式会社アークシステム]
川口 賢一 [小岩井乳業株式会社]
石毛 幾雄 [株式会社ソフトロード]
三角 正樹 [株式会社フィックスポイント]
森脇 真吾 [株式会社ユニリタ] ■
川上 祥平 [株式会社ユニリタ] ▲

管理職層の研究グループであるOE01では、各研究会の支援及びIT部門の在り方について広い範囲で議論しています。今年度は、『運用業務に光と未来を』『業務へのAI活用』などのテーマで活発な議論を行っています。

引継ぎレスの実現

OE02



湯山 菜々子 [第一生命テクノクロス株式会社]
湯山 仁望 [株式会社KYOSO] ★
吉田 秀悟 [エスアイエス・テクノサービス株式会社] ○
栗原 裕哉 [株式会社アイネット]

石井 翼 [株式会社インフォテック/朝日]
大下 俊秀 [TISシステムサービス株式会社]
長谷川 弘行 [株式会社ユニリタ] ■

「引継ぎ」のみならず「業務」から改善を試みるシンプルなフレームワークを提案します。組織としても前向きな引継ぎになる手助けになれば幸いです！



UNIRITA Users' Group

CLOSE-UP!

東日本地区

セキュリティリスク対策の運用最前線

OE03



工藤 淳 [AGSプロサービス株式会社]
石川 裕基 [さくら情報システム株式会社] ★
山田 真 [MS&ADシステムズ株式会社] ○

石田 亮介 [リコーITソリューションズ株式会社]
王 曉偉 [株式会社ユニリタ] ■

フェイクニュースから企業を守るため、ファクトチェックの有効性と対策を徹底的に追究し、実践的な運用方法を研究しています！

脱インシデント対応！

OE04

～障害・問い合わせを根本からなくすには～



栗田 雅之 [北陸コンピュータ・サービス株式会社]
工藤 沙織 [太陽生命保険株式会社]
唐 しんえん [株式会社 THS]
當津 征幸 [株式会社サンロジスティクス] ★

見富 輝希 [株式会社ネットサービス・ソリューションズ] ○
安田 樹奈 [株式会社ユニリタ]
佐々木 一稀 [株式会社ユニリタ] ■

「脱インシデント対応」をテーマにITの分野と他業種を比較し、発生件数削減ではなく対応コスト削減を目標として研究を行っています。どんな発表になるかお楽しみに！

限られた人材で実現する持続可能な業務運用

OE05



河村 篤嗣 [AGSプロサービス株式会社] ○
石 鐘詔 [株式会社 THS]
熊倉 裕也 [エスアイエス・テクノサービス株式会社] ★
山下 海 [株式会社クエスト]
井島 礼雄 [SOMPOシステムズ株式会社]

東海林 美歩 [さくら情報システム株式会社]
山本 浩 [第一生命テクノクロス株式会社]
田村 直登 [株式会社ユニリタ]
三浦 樹莉 [株式会社ユニリタ] ■

生成AIで教育支援を強化し、スキル継承の課題を突破します。限られた人材でも業務を止めず持続可能な運用を実現！現場の負担を減らし、教育に新たな方向性を提示します。

生成AIを活用したシステム運用業務の効率化

OE06



鈴木 純斗 [さくら情報システム株式会社] ○
劉 碩 [株式会社 THS]
野村 杏 [株式会社オカムラ]
神田 裕紀 [AGS株式会社]
西川 英樹 [株式会社アークシステム] ★
水口 恵里花 [興安計装株式会社]

小川 達也 [株式会社システムエグゼ]
吉江 治紀 [日本情報産業株式会社]
栗原 歩 [ソニー生命保険株式会社]
宗形 都也 [株式会社ユニリタエスアール] ■
鈴木 康弘 [株式会社ユニリタ] ▲

有識者が不在でも、経験の壁を越えて現場を支える力をAIとともに育てます。若手メンバ中心に、生成AIを活用した障害対応に取り組みました！

中部地区

AI活用によるIT人材不足へのアプローチ

INO1



鈴木 智皓 [生活協同組合連合会 東海コープ事業連合]
北川 嵩彬 [岡谷システム株式会社] ★
橋爪 拓人 [株式会社トヨタシステムズ]
伊藤 翔磨 [日東工業株式会社] ○
荒尾 晃大 [株式会社リンクレア]

鈴木 佳乃 [株式会社トーカン]
加藤 壮 [愛三工業株式会社]
武田 悟 [株式会社ユニリタ] ■
飯塚 棕子 [株式会社ユニリタ] ▲

IT業界の中間層人材は、需要の高い一方で流出してしまうケースが多く見受けられます。中間層人材が流出したことによる知識・ノウハウの欠落といった大きな課題に対し、AIを用いて解決策を導きます！

中部地区

AI活用による運用品質向上・標準化へのアプローチ

ON01



田口 太陽 [岡谷システム株式会社] ★
西脇 彩人 [株式会社KYOSO]
伏見 寧々 [株式会社メイテツコム]
田中 颯真 [株式会社クエスト]
森 愛星美 [TDIシステムサービス株式会社]

藤田 遥南 [株式会社クエスト]
小波津 雅人 [株式会社システムエグゼ]
佐久川 風 [デジタル・インフォメーションテクノロジー株式会社] ○
小山 駿 [株式会社ユニリタ] ■

チャットボットなんて飽きた？なら“取材するAI”の定番！未だかつてない“新感覚チャットボット”を研究！AIが記者のような鋭い質問で現場の知見を引き出す！

西日本地区

業務変革とIT活用

GW01



小玉 博樹 [小浦石油株式会社]
西 洋一 [株式会社KYOSO]
前田 史朗 [株式会社西出自動車工作所]
山中 正人 [大和リース株式会社]
梅棹 瞬 [ダイキン工業株式会社]
熊取 美佐都 [小浦石油株式会社]
中西 要 [エース株式会社]
深沢 修 [旭化成アミダス株式会社]
水門 陽介 [株式会社ノビア] ★
谷口 正直 [村田機械株式会社]
速水 和也 [株式会社リンクレア] ○
高取 知弘 [株式会社コーユービジネス]

網師本 里志 [株式会社アド・ダイゼン]
笠行 治郎 [株式会社シーエーシー]
松宮 加門 [株式会社リコー]
神澤 沙友理 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
坂元 弘樹 [株式会社シーエーシー]
赤瀬 欣也 [ユニチカ株式会社]
江角 博規 [ユニチカ株式会社]
土川 貴久 [株式会社日本ビジネスセンター・ロジセクター]
小野 俊治 [株式会社ユニリタプラス]
中西 信一 [株式会社ユニリタプラス]
三木 朝広 [株式会社ユニリタプラス] ■
山本 真也 [株式会社ユニリタプラス] ▲

本グループではメンバ各社が抱える課題などを題材に、例えば人材強化・モデル人材、システム選定方法、セキュリティ対策など、情報交換をメインに活動しています。

■ 情報活用研究部会
■ システム運用研究部会
■ 合同研究部会

★ リーダ
○ サブリーダー
■ コーディネータ
▲ サブコーディネータ

西日本地区

AIに任せる日常業務

～自動化によるビジネス効率化の新常識～

GW02



AIが手順書を常に進化！人に依存しない“生きていく手順書”で、ワクワクする業務効率化の新常識を切り拓きます。乞うご期待ください！

高松 真由 [山崎製パン株式会社]
瀬田 奈保子 [株式会社ノエビア]
三好 仁美 [ヤンマー情報システムサービス株式会社]
岡本 昇也 [株式会社ヴィンクス]
伊藤 杏菜 [株式会社コーユービジネス]
磯本 綾 [東洋アルミニウム株式会社]
徳山 龍起 [TDIシステムサービス株式会社] ★

溝口 未祐 [ダイハツ工業株式会社]
藤川 菜津子 [株式会社シーエーシー]
黄 善玉 [ユニチカ株式会社]
藤澤 恭行 [第一工業製薬株式会社] ○
正村 棕介 [株式会社ユニリタプラス] ■
橋本 学 [株式会社ユニリタプラス] ▲

AI拡張型開発による次世代システム構築の新潮流①

GW03



AIによって変革する開発プロセスの未来を見据え、チーム一丸で研究に取り組んでいます。実践的かつ有意義な発表を目指していますので、ぜひご期待ください！

片山 英 [大和リース株式会社] ○
寺村 綾太 [村田機械株式会社]
今中 祐太 [株式会社リンクレア]
岩口 仁哉 [日本ビジネスタープロセッシングセンター]

田邊 聖汰 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
仙石 仁美 [ダイハツ工業株式会社] ★
中村 依理子 [株式会社ユニリタプラス] ■
新屋 勇二 [株式会社ユニリタプラス] ▲

AI拡張型開発による次世代システム構築の新潮流②

GW04



AIが開発現場をどう変えるのか、最新のトレンドと実践から探ります。開発者でなくても新しい発見がある内容ですので、興味を持っていただけると嬉しいです。

大國 航 [小浦石油株式会社] ★
松井 良樹 [株式会社リンクレア]
村田 一真 [株式会社システムエグゼ]
島 侑作 [株式会社関電システムズ]

半田 純 [株式会社シーエーシー] ○
福岡 祐希 [情報技術開発株式会社]
有城 貴樹 [株式会社ユニリタプラス] ■
北川 博之 [株式会社ユニリタプラス] ▲

サービス管理を快適に

～ITSMツール最適化で業務を加速～

GW05



みんなが立ち止まる属人化の壁に「ナレッジ砲」発射！業務加速と改善の道を切り開きます。

楠 仁太郎 [株式会社日本ITシステムセンター]
東山 瑞穂 [株式会社KYOSO]
河元 穂乃花 [ダイハツ工業株式会社]
堀田 勇介 [さくら情報システム株式会社] ○

松任 貴則 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社] ★
園山 小百合 [旭化成アミダス株式会社]
二見 徳人 [株式会社ユニリタプラス] ■
津田 昌彦 [株式会社ユニリタプラス] ▲

西日本地区

新時代のデータ活用戦略

～ガバナンス強化で支える効率的な業務環境～

GW06



私たちは、新時代のデータガバナンスとして、特に活用が難しかった「非構造化データ」に注目しました。固定観念にとらわれず、新たな価値創造を探索していきます。

名取 一秀 [小浦石油株式会社]
小堺 優人 [京セラ株式会社] ○
小林 怜央 [リコージャパン株式会社]
江本 颯樹 [日本精線株式会社]

木原 学 [株式会社シーエーシー] ★
高橋 志音 [株式会社ユニリタプラス] ■
吉岡 佳音 [株式会社ユニリタプラス] ▲

DX推進の障壁と成功への道筋

～まだ進まないのかDX？～

GW07



日本の成長に不可欠なDX推進。しかし、なかなか進まない、なぜ進まないのか？その停滞を、私たちの研究が打破します！DX推進に革新をもたらす研究です。

鎌田 悠介 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社] ○
神藤 翼 [株式会社オブテージ] ★
吉村 安梨佐 [村田機械株式会社]
高野 浩一 [リコージャパン株式会社]
北坂 将一 [株式会社ダイフク]

西田 俊樹 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
森本 大介 [情報技術開発株式会社]
尾崎 隼人 [第一工業製薬株式会社]
山田 秀樹 [株式会社ユニリタプラス] ■
北方 一騎 [株式会社ユニリタプラス] ▲

ヒューマン・コンピュータ・インタラクション(HCI)の最適化

～人間とコンピュータの境界を超えるユーザーエクスペリエンス(UX)～

GW08



マーケティングで注目されている「パーソナライズUI」を業務システムに活用し、システムの課題解決と生産性向上を目指します。お楽しみに！

鮫花 花音 [株式会社ノエビア]
瀧井 一貴 [株式会社オブテージ]
清水 友紀 [南海システムソリューションズ株式会社]
比嘉 実藍 [東洋アルミニウム株式会社] ★

土方 望会 [株式会社リンクレア] ○
黒田 浩子 [株式会社ユニリタプラス] ■
藤田 直真 [株式会社ユニリタプラス] ▲

九州地区

HCIを活用したサービスの可能性

GK01



20～30代の若手が集い、HCI (Human Computer Interaction) という新たな学問領域の研究を通じて、サービスの可能性を提言します！

中島 直紀 [株式会社インフォセンス]
馬場 勇輔 [株式会社インフォセンス] ★
平野 歌鈴 [西鉄情報システム株式会社]
重野 晴耀 [西鉄情報システム株式会社] ○
野崎 拓海 [株式会社リンクレア]

新開 淳平 [西部ガス情報システム株式会社]
佐々木 智仁 [Qsol株式会社]
大庭 駿一 [Qsol株式会社]
馬込 秀紀 [株式会社ユニリタプラス] ■
石崎 毅 [株式会社ユニリタプラス] ▲

※氏名の掲載順は順不同です。 ※掲載している氏名・社名は、2025年11月時点のものです。

2025年度 活動報告

2025年4月～2026年3月

今年度も多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。
開催にあたりご協力いただきました関係各位に、心より御礼申し上げます。
来年度も、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

5月 May

春の全体会（研究会活動キックオフ）

5/22
中部地区

5/23
東日本地区

5/28
西日本地区

5/30
九州地区

研究会活動のキックオフとなる春の全体会を開催しました。メンバ数約6～8名程度で研究グループが構成され、初対面の顔合わせから研究会活動の一斉スタートです。各地区で昨年度の研究グループの研究発表やグループ討議を行い、懇親会でもメンバ間の距離を縮めることができました。



6月 June

第10回ITゼミナール（6/10）Zoomウェビナー開催

「企業で量子コンピュータを活用するための最新技術動向について」

学校法人芝浦工業大学 工学部 准教授 博士（理学） 渡部 昌平様

芝浦工業大学の渡部昌平准教授をお招きし、「量子コンピュータ」をテーマにご講演いただきました。

量子コンピュータの基礎原理や最新技術動向について、図などを使い、わかりやすくご説明いただきました。難しい分野ではありましたが、参加者からは「量子コンピュータを知る良いきっかけとなった」という声を多くいただきました。

第160回 マネジメント 研究会（6/27-28 愛知） 17社35名ご参加

「日東★情報すくい化計画 IT部門が強いと会社は強くなる！」

日東工業株式会社 DX統括部 ICTインフラ戦略室担当部長
兼サイバーセキュリティ課長 北住 千穂様

「スマートファクトリーへの取り組みについて」

日東工業株式会社 DX統括部 情報システム部 部長 舟橋 賢様

ご講演後の瀬戸工場見学では、お客様のオーダーから生産、出荷までを一気通貫で実現する最新鋭の生産ラインを間近で見る事ができました。そこでは、UI/UX（ユーザインターフェース / ユーザ体験）にこだわり抜いたシステムと、自動ロボットや自律



走行搬送ロボット（AMR）などが連携する自動生産の様子を目の当たりにし、お客様の様々なオーダーにも迅速に対応できるスマートファクトリーの卓越した技術を感じることができました。

7月 July

合宿

7/4～5
西日本・九州合同

7/4～5
東日本システム運用
研究部会

7/11～12
東日本情報活用
研究部会

8/1～2
中部合同

■西日本・九州合同 合宿

本年度は大阪万博開催の影響で、例年開催している大阪での合同合宿が難しく、滋賀県の琵琶湖グランドホテルでの開催でした。各グループ非常に議論が盛り上がり、アイスブレイクや懇親会で参加者同士の親睦を深めることができました。

■東日本システム運用研究部会 合宿

本年度も鬼怒川温泉ホテル三日月で合同合宿を実施しました。代表、副代表の積極的な支援もあり、研究テーマを決めるための議論が活発に行われました。懇親会においては、参加者同士の親睦を深め、今後の研究活動の良いきっかけ作りができました。



■東日本情報活用研究部会 合宿

昨年度に続き、鬼怒川温泉ホテル三日月にて合同合宿を実施しました。約100名の参加者が集まり、各研究グループではテーマ決定に向けて活発な討議が行われました。また、懇親会および二次会を通じて、参加者同士の親睦を深めることができました。

8月 August

合宿

■中部合同 合宿

本年度は日間賀島にあるアイランドホテル浦島にて合同合宿を開催しました。懇親会ではグループの垣根を越えて盛り上がり、各グループだけでなく中部全体で交流を深めることができました。

9月 September

グループリーダ会議

9/11
西日本・九州合同

9/19
東日本情報活用
研究部会

9/25
東日本システム運用
研究部会

10/3
中部合同

■西日本・九州合同 グループリーダ会議

各研究グループリーダから、オンラインにて研究状況を報告していただきました。グループリーダ以外のメンバの出席は任意でしたが、51名の参加とメンバの参加率が非常に高く、今年度の研究活動への熱意の高さがうかがえました。

■東日本情報活用研究部会 グループリーダ会議

「スケジュール・活動計画」「テーマ決定までの道のり」「活発な議論の実現」の3つのカテゴリに対して、各研究グループから事前に提出された課題をもとに、リーダ・サブリーダ・コーディネータで「1-2-4-ALL」および「ワールドカフェ」形式で結論を導き出す体験を実施しました。



■東日本システム運用研究部会 グループリーダ会議

各研究グループより、研究活動に対する進捗報告や課題に関する相談がありました。代表、副代表からの的確なアドバイスを受け、研究の内容や進め方の見直しが実施できました。各研究グループ間で類似の研究内容に関する意見交換の場面もあり、研究グループ間の交流もできました。

10月 October

グループリーダ会議

■中部合同 グループリーダ会議

中部は例年、リーダだけでなくメンバの方全員に集まっていただき開催しています。各研究グループより進捗報告や課題を発表していただきました。代表からのコメントだけでなく他グループからの質問が多く挙がり、研究の深掘りに入っている今、良い刺激の場になったと思います。

第11回ITゼミナール (10/16) Zoomウェビナー開催

「企業で量子コンピュータを活用するための最新技術動向について」(第二弾)
学校法人芝浦工業大学 工学部 准教授 博士(理学) 渡部 昌平様

第10回に引き続き渡部昌平准教授より、「量子コンピュータ」をテーマにご講演いただきました。

まず前回の内容を踏まえ、「量子コンピュータ」の基礎原理と概念を改めて分かりやすく解説いただき、続いて、渡部准教

授の研究室で学生の皆さんと共に取り組まれている最新の研究事例をご紹介いただきました。

特に、大阪万博で研究成果を披露された具体的な事例のご紹介や、企業との共同研究として進められているごみ収集業務の効率化に関する取り組みなど、実用化を見据えた多様なアプローチについて詳しくお話しいただきました。

最先端の学術的な知見から、社会実装に向けた具体的な実証実験まで、量子コンピュータが持つ今後の可能性を多角的にご提示いただき、参加者からは、「基礎から応用まで体系的に理解できた」「さまざまな実証実験を経て、量子コンピュータが近い未来ではなく身近な技術になってきていることを実感した」といった、実用化への期待を示すお声を多数いただきました。



11月 November

第161回マネジメント研究会 (11/19群馬)

10社18名ご参加

「社会課題を解決するTOPPANのSXパッケージ戦略とシステム対応」

TOPPAN株式会社

デジタルイノベーション本部 生活ビジネスユニットセンター 1部 部長 松本 匡哉様

デジタルイノベーション本部 生活ビジネスユニットセンター 1部 3チーム 課長 嶋崎 優絵様

群馬センター工場(食品包装材製造)の見学では、私たちが普段目にしている食品・日用品の軟包装がどのように作られているのか、その製造工程や仕組みを学ぶことができました。GL FILM技術の高い性能や、多くの工程を経て完成へと進むプロセスには圧倒され、その技術力の高さに皆様が強く関心を寄せている様子がうかがえました。

また、その後のSXパッケージ事業に関するご講演では、構築の過程で直面した課題や、それらにどのように取り組まれてきたのかといった実例を交えてお話しいただき、非常に示唆に富むご講演となりました。

▶ 12月以降の予定

12月 December

冬の全体会

12/5
東日本地区

12/9
中部地区

12/10
九州地区

12/12
西日本地区

2月 February

Web 総会投票

3月 March

第42回UNIRITA ユーザシンポジウム (3/5-7)

第53回定時総会報告

※社名・所属・役職などは開催当時のものです。

The 42nd UNIRITA Users' Symposium

第42回 UNIRITAユーザシンポジウム 開催のお知らせ

UNIRITAユーザシンポジウムを下記の通り開催いたします。



開催期間：2026年3月5日(木)～3月7日(土)

会場：びわ湖大津プリンスホテル

〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7

参加費：ユーザ会会員 74,000円/名

ユーザ会非会員 104,000円/名

※シングルルーム利用の場合となります。

ツインルーム利用の場合は、上記金額より14,000円/名 割引となります。

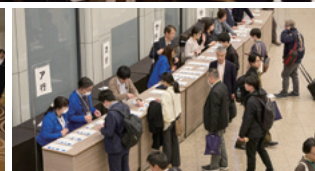
※参加費には、宿泊費、第1日目の夕食～第3日目までの朝食、および各セッションへの参加が含まれております。

※現地までの交通費は含まれておりません。

UNIRITAユーザシンポジウムの概要・お申し込みについては
シンポジウム特設サイトをご覧ください

▶<https://symposium.uniritauser.jp/>

QRからも
アクセス
できます



【 お問い合わせ 】

UNIRITA ユーザ会事務局

E-Mail：usergrp@unirita.co.jp

TEL：03-5463-6412

(受付時間：平日 9:30～17:00)

【 非会員の皆様へ 】

UNIRITA ユーザ会入会のご案内

ユニリタグループが提供するソフトウェア・プロダクトおよびサービスを利用している企業・団体様は随時入会できます。年会費は30,000円/社です。(事業年度 1月～12月)

ユーザ会が提供する活動での会費は基本的にはかかりません。

入会の手続きに関しましては、ユーザ会ホームページをご確認いただくか、ユーザ会事務局までお問い合わせください。

編集後記

事務局より

今年度も、昨年に続き「びわ湖大津プリンスホテル」で UNIRITA ユーザシンポジウムを開催します！🌟 ホテルから望む琵琶湖の景色は本当に美しいですが、今年はさらに嬉しいニュースが…！なんと、あのバウムクーヘンで有名な〈クラブハリエ〉グループの新店舗「LAGO 大津」がホテルの目の前にオープンしています！（詳しくはP3をチェック）シンポジウムを無事に終えた帰りには、焼きたてのスイーツやバウムクーヘンをお土産に買うのも楽しみですね。さて、いよいよ本番に向けて準備も本格化していきますが、このシンポジウムが皆さまにとって実りある時間となるよう、スタッフ一同、心を込めて取り組んでまいります！



UNIRITA Users' Group

UNIRITAユーザ会ニュース No.68 発行日：2025年12月3日

編集発行：UNIRITAユーザ会事務局 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟29階 株式会社ユニリタ内
E-Mail：usergrp@unirita.co.jp TEL：03-5463-6412 URL：https://www.uniritauser.jp/